

ロータリーの未来は  
あなたの手の中に

国際ロータリー第2530地区東北第一分区  
**福島南  
ロータリークラブ**

事務局／福島市太平寺字通町1-2 2F・3F・メッセ1F2号室 〒960-8151 tel.(024)546-3793 fax(024)545-7875  
 副会場／サンパレス福島 福島市上町4-30 〒960-8101 tel.(024)523-3811(夜) fax.(024)523-0375  
 HPアドレス http://www.naka.ne.jp/~southrotary/index.html

2009年-2010年PTテーマ

会長：林 克重 幹事：高橋 和之  
 会報委員長：小坂 和也 副委員長：藤橋進一郎 委員：柴田 和美・金子 頼明・阿部 真行

**第47回例会** 平成22年6月30日(水) サンパレス福島  
 ■メークアップ/21名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/46名 ■出席率/68.66%

**本日のプログラム**

1 開会点鐘	7 スマイリング報告
2 ロータリーソング(奉仕の理想)	8 会員元気スピーチ
3 4つのテスト	9 幹事報告
4 会長挨拶	10 会長・幹事挨拶
5 臨時クラブ総会	11 バッチ交換・他
6 モントリオール国際大会帰国報告	12 閉会点鐘



**今月・来月のプログラム**

7月7日(水) クラブ協議会	7月14日(水) クラブ協議会
7月7日(水) IAC例会 (16:30~成蹊高校)	7月21日(水) ガバナー補佐クラブ訪問、クラブ協議会
	7月28日(水) 家族納涼パーティ(18:00~サンパレス)

**◆会長挨拶 林 克重 会長**

会員皆様のご協力のもと1年間こま  
 で会長職を務めさせていただきました  
 事、誠に感謝します。  
 本日は、後ほどスピーチをさせていた  
 だくので、会長挨拶は、後ほどまとめ  
 てさせていただきます。



**◆モントリオール国際大会帰国報告**

**鈴木恒昭 国際大会実行委員長**



モントリオール国際大会に参加し、  
 無事帰国のご報告を申し上げます。最  
 終参加人数は、白河 RC 福山吉英様、  
 いわき勿来 RC 渡邊公平様と御家族 2  
 名、福島 21RC 佐藤信博次期ガバナー  
 補佐、当クラブからは大橋ガバナーエ  
 レクトはじめ会員12名と御家族8名の  
 計25名、そして当クラブ会員近畿日本  
 ツーリスト支店長須田敏光会員の案内にて行ってまいりました。6/18  
 (金)9:00 福島駅西口より出発、日本時間 6/20 6:30 日本人親善  
 朝食会に全員参加、ジョン・ケニーRI 会長もお出でになり挨拶のスピーチ  
 がありました。その後 18:30 より 2010 年国際ロータリーモ  
 ントリオール大会に参加致しました。会場はベルセンターという場所  
 で約 3 万人収容出来ますアイスホッケー場は目を見張る施設であり  
 ました。世界中のロータリアンが集まり、まさに国際色豊かという様  
 でした。RI 会長の挨拶・公演が始まりました。林会長、吉田資金  
 委員長が通訳機を何個か苦勞して購入していただいたお陰で話が良  
 く解かり大変素晴らしい内容で感動いたしました。このような機会を  
 得ましたことは、これも一重に大橋ガバナーエレクトの強い意志のお  
 陰であると感激致しております。内容はロータリーの友に掲載されま  
 すのでお読みいただければと思います。後はモントリオール3泊、ニュ  
 ューヨークに3泊と大変楽しい旅で全員無事帰国できましたことに  
 感謝申し上げます。ハプニングを一つご紹介いたします。ニューヨ  
 ーク2日目の夕食会時、大変有名な日本料理店で日本の各有名な、特に  
 野球の松井選手がよく来られるという話のお店でした。我がが会食し  
 ておりましたら、ニューヨーク市長ブルームバーム氏がお見えになっ

ていると店主からのこっそり話にて知り、丹治洋子会員がすかさず後  
 を追い花見山のパンフレットを手渡し「是非、お出でください」と日  
 本語で話しかけておりました。間違ってお出でになられたら会員全員  
 でご接待したいと思えます。

**◆会員元気スピーチ 佐久間 功 会員**

商売の話はともかく、元気のでるスピーチ  
 を考えましたが思い当たることが  
 なく困りましたが、人の行動に関する  
 話をさせていただきます。アブラハム・マ  
 ズローの欲求段階説というのをご存知  
 でしょうか。マズローはアメリカの心理  
 学者ですが、彼が唱えた人間の欲求  
 段階は5段階のピラミッドのようにな  
 っていて、底辺の1段階は、人間が生きていくために最低限必要な、  
 生理現象を満たすための生理的欲求、その上2段階目は、誰にも脅か  
 されなく、安全に安心して生活していきたいという安全の欲求、次の  
 3段階目は、集団に属したり、仲間から愛情を得たいという新和愛情の  
 欲求、4段階目は、他人から認められ、尊敬されたいという尊敬自我の  
 欲求、そして一番上の5段階目が自分自身の持っている能力・可能性  
 を最大限に引き出し、創造的活動をしたい、目標を達成したい、自己  
 成長したいという自己実現の欲求、というものです。人は、満足され  
 ない欲求があると、その人の内部に心理的な緊張が生じてしまい、こ  
 の緊張を解き放そうとなんらかの行動をとります。そして、ある行動  
 によって緊張が解かれると欲求は満足され、もはや行動を動機づける  
 力をもたなくなります。なかなかまい具合にいかないのも人生です  
 これを仕事に当てはめると、優秀な経営者は段階を駆け上がるのは早  
 いのですが、階段を踏み外すこともあります。上を目指すなら失敗を  
 恐れないチャレンジ精神がきわめて重要であることを認識しました。  
 社会的に成功を取めた人が、社会貢献活動をするのは5段階目を極め  
 た人かもしれません。やはりロータリークラブの仲間に入れて頂いた  
 ことはグッドジョブつまり、よい仕事をしているからこそ、だと自信  
 を持ちました。これで「超我の奉仕」の意味が解ったような気がしまし  
 た。そして元気がでてきました。今後の取り組みとしては、お客様の  
 ご要望に応じられる菓子店経営が、私に課せられた責務と思います。  
 これからも様々な人との出会いを大切に、それを自分の宝として積み  
 重ねて行きたいと感じています。



**◆会長・幹事挨拶**

**林 克重 会長**

お陰様で最終例会のスピーチをさせ  
 ていただけることとなりました。こ  
 こに立てるのも、会員の皆様のご支  
 援のおかげであります。  
 会場監督の皆様 齋藤ミヨさんを中  
 心に例会をまとめていただきました。  
 今年は、ソングリーダーも兼務をお願いしたり、誕生日のお花なども  
 ご協力いただきました。  
 和やかな例会をありがとうございました。  
 クラブ奉仕管理委員会 大野委員長さんクラブの運営を中心に例会  
 プログラムのアドバイスから会長幹事の相談に乗っていただき効果  
 的な例会を工夫させていただきました。特にクラブフォーラムを組み  
 立てていただき感謝します  
 会員増強委員会 高橋勇雄委員長目標達成感謝です。  
 1年で新入会員を入れるのはタイミングが合わない事もありますの  
 で次年度へ継承し、より高い目標で活動をお願いします。  
 職業分類・会員選考委員会 大橋委員長のもと選考対象はいないの  
 と聞いていただいた事を思い出します。励ましありがとうございました。



ロータリー情報委員会 廣澤委員長を中心にガバナー輩出クラブと  
 して、ロータリーを学ぶ特別講演を開催いただきました。  
 多くの会員が参加いただきお忙しいところありがとうございました。  
 親睦活動委員会 吉田委員長を中心に全員参加の委員会をしてい  
 いただきました。誕生日プレゼント企画とても好評でした。また、夜間例  
 会の準備ありがとうございました。  
 クラブ広報雑誌委員会 本田委員長の得意分野を生かしていただき  
 ました。持ち回りで友の読みどころも行っていただきました。ありが  
 とうございました。  
 クラブ会報委員会 小坂委員長はじめ委員の皆様誠にありがとうござ  
 いました。経費節減とともに内容の充実を図っていただき、制作を  
 お願いしました。  
 出席委員会 喜古委員長忙しいところ、欠席されている会員に情報を  
 届けていただきました。ありがとうございます。  
 スマイルボックス委員会 佐藤誠委員長目標達成ありがとうございます  
 ます会員各位のスマイルがなければ、クラブの活動に弾みがつきませ  
 んでした。

奉仕プロジェクト委員会 黒羽委員長「超我の奉仕」奉仕の原点を推  
 進いただきました。次年度会長よろしくおねがいします。  
 職業奉仕委員 菅原委員長を中心に4つのテストだけでなく綱領も  
 提唱いただきました。資料の配布ありがとうございます。  
 社会奉仕委員会 福田委員長、委員会の皆様忙しい活動をすべてこな  
 していただきました。ロータリー活動の重要な役割をありがとうございます  
 ました。  
 国際奉仕委員会 伊藤弘子委員長米山記念館訪問など思い出を作っ  
 ていただきました。モントリオール企画にも協力いただきました感謝  
 します。  
 新世代委員会 佐久間委員長を中心に成蹊 I A C 育成に力を頂きま  
 した。ありがとうございます。  
 ロータリー財団委員会 財団は、国際ロータリー活動を支える基本で  
 す。韓国からGSE受け入れレセプションもありがとうございます。  
 米山記念奨学会 植木先生と委員の皆様奨学生の教育と交流をしっ  
 かり行っていただきました。郭さんの最終スピーチ感銘を受けました。  
 ありがとうございます。  
 最後に高橋幹事に感謝したいと思います。  
 私の至らない猪突猛進をブレーキ役になり支えていただくのはもち  
 ろんですが、高橋幹事のおかげで今年度南クラブの充実ができたと思  
 います。1年間とはいえ、とても濃い時間を過ごさせていただきました。  
 明日から黒羽年度また楽しい年度となる事を祈念し最終スピーチ  
 といたします。

**高橋 和之 幹事**

一年間皆様方には、大変お世話にな  
 りました。深く感謝申し上げます。  
 会長の林さんには、短い足を引っ張  
 ってばかりいて充分な幹事役をこな  
 せなかったことに深くお詫び申し上  
 げます。すみませんでした。  
 また貴重な経験をさせていただきました  
 ことに重ねて感謝申し上げます。  
 一年間は長いと思うか、短いと思うかを自問自答してみますと、実に  
 短いと云うことであります。仕事上における一年間は、続きのある一  
 年間でありまして、一年間の質が違うということに気がついたのであり  
 ます。そして更に気づいたことは、このロータリー活動における一  
 年間限定の仕事は、人生の縮図を体験した観があります。つまり、「ど



んなにつらいことも、困難なことも、楽しいことも、待ち遠しいこと  
 も、過ぎてしまえばその全てに実体は無く、記憶の中のみ存在し、  
 そして記憶は年月とともに薄れていく」ということであります。  
 簡単に言うと、「やる前から心配するな 何とかやるか」ということで  
 しょうか。大変貴重な気づきをさせていただきました。  
 ここで一年間を振り返ってみますと、幹事役をおおせつかりました昨  
 年の年明け早々から忙しさが増してきたように感じました。当時社会  
 奉仕委員長も仰せつかっておりましたから、役割が重なって来たこと  
 もあったと思います。またその間を縫って、廣澤俊樹さんの力を借り  
 ながら、クラブ細則の見直し改定作業も行いました。結構時間も必要  
 としましたが楽しかった思い出の一つです。  
 一昨年の秋といえばアメリカ発のリーマンショックでしたが、わが社  
 の自動車部品製造業も、年明け早々からリーマンショックの被害が表  
 面化して参りました。見る見る間に受注量は激減し、あつという間に  
 昨年3月にはピーク時の7割減まで落ち込みました。つまり7割の  
 社員が余る事態となりました。1000年に一度といわれたリーマンシ  
 ョックは、過去に経験したことの無い、底の見えない不気味な激変が  
 続いたのです。つまりここで申し上げたいことは、一生に一度きり  
 無い、林年度の立ち上げと、100年に一度と言われたリーマンシ  
 ョックの対応が、同時であったということでもあります。私にとっては、  
 実に思いで深い年度でありました。蛇足であります。我が南の会員  
 も、わが社の正社員も一人も辞めなかったということも偶然にも一致  
 します。楽しかった幹事役も今日で終えますが、わが会社の仕事のほ  
 うも、明日の7月から生産がピークを迎えます。人生って何と合理的  
 であり、残酷であり、思いで深いのでありましようか・・・。  
 そういう中であつての一年間でしたが、各委員会の皆様には大変お骨  
 折りをいただきました。今日まで幹事役を支えていただきましたこと  
 に深く感謝申し上げます。

特にSAAの心温まるご配慮ありがとうございました。またクラブ会  
 報委員会の皆様には、初めての試みでありました手作りの会報発行で  
 は、大変無理をお願い申し上げてきました。この目的は経費節約と会  
 員による会員のための会報を目指すというものでした。私も過去に会  
 報委員の経験がありますので、その苦勞は理解できます。これも時代  
 の流れとしてわが南に新しい変革をもたらすものであろうと今後に  
 期待するところであります。また親睦活動委員会や社会奉仕委員会並  
 びに新世代委員会の皆様には盛りだくさんの活動に対応していただ  
 きました。この他に事務局はじめ多  
 くの委員会の皆様のご協力を頂きま  
 した事に、重ねて感謝申し上げます。  
 幹事役は大変だというイメージが強  
 いのでありますが、委員会活動に支  
 えられたクラブ活動でありますので、  
 皆さんから多くを助けていただけま  
 す。ですから会員の皆様全員に、幹  
 事役を経験していただきたいと切に  
 思うところであります。このあと明  
 日からの黒羽年度に於かれましても、  
 会員の惜しみないご協力と、委員会  
 活動を活発にお願いいたします。  
 最後に、福島南ロータリークラブと  
 会員企業は永遠に不滅でありますよ  
 うに！ご祈念申し上げまして幹事挨拶  
 と致します



**◆スマイリングボックス◆**

- ・林会長、高橋幹事、一年間ご苦勞さまでした。
- ・黒羽好夫会員、齋藤健一郎会員、宍戸清和会員、菅原節子会員、  
廣澤俊樹会員、藤橋進一郎会員、本田光男会員、武藤正隆会員  
福島21RC 佐藤信博会員

- ・一年間大変お世話になりました。齋藤ミヨ会員
- ・一年間スマイリングありがとうございました。佐藤誠会員
- ・一年間ご支援いただきまして、ありがとうございます。林克重会長、高橋和之幹事
- ・大声杯の教え子が、世界大会出場目指して東北代表で全国大会に行きます。富田健三郎会員
- ・皆様のご協力に心より感謝いたします。一年間ありがとうございました。クラブ会報委員会一同

**スマイル 104,000円 累計 2,009,000円**  
**財団・米山 45,000円 累計 1,648,571円**

**◆座右の銘◆ 富田 健三郎 会員**

「他(ひと)の喜ぶ顔を創生出来ればそれが小生の至上の喜び也」

**―編集後記―**

最終回です。切磋琢磨の一年でした。(金子)